

お客さまへのメッセージ

執行役員
野田 清文 (S I & S 担当)

過去から引継ぎ、未来へ！ Part II

久しぶりに採用面接を担当させていただきました。
今回嬉しかったのは、弊社への志望動機を尋ねると、
「50年近い歴史のある会社で、人に温かいその社風の中で
是非自分も人に役立つ仕事がしたい」と、ほとんどの方が
「ソルネットらしさ」に繋がる話をされていたことです。



15年前の研修風景 (中央：野田)

企業の寿命は30年とも言われていますが、弊社は2年後に50周年を迎えます。旧新日本製鐵(現、新日鐵住金)グループの一員として創業した1967年、八幡製鉄所さま向けのデータエントリー業務からスタートした事業分野も、システムインテグレーション、機器販売、受託計算の各事業を着実に拡充して、2007年に総合 I T 企業として更なる発展を目指し、現在の J B グループの一員になりました。新日鐵住金さまを始め地元企業の皆さまの温かいご支援を頂きながら、諸先輩方が創業の精神を貫き、I T 業界という移り変わりの激しい業界において、時代の要請に敏感に対応して、社会から必要とされる商いへと変革を続けてまいりました。

一方で、変わらない不滅のものも脈々とながれています。それは、この誌面の「らしさ考」でもお伝えしている「人が財産 人が中心」という想いです。創業以来一貫して、社員教育や社内イベント等で培われ、遊び心があって、人に対して温かく、仕事に対してもまっすぐなところは、社員はもちろん上司や役員まで、キャリアに関係なく引き継がれています。また、北九州のお客さまを中心に活動を行っており、地域のイベントにも積極的に参加するなど、地元強く根付いた企業で、地元を深く愛するところも変わっていません。そのような中で育まれた、お客さま重視の想いや品質第一への取組みといったことは、SOLNETビジョン「社員ひとり一人が、お客さまの成功への貢献を目指します」として変わらず継承されています。

いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていくことが未来に向けて大事なことで肝に銘じて、この素晴らしい北九州の地で事業を展開できていることに感謝しつつ、お客さまや地域に貢献できる会社を目指し、努力を続けていきたいと思います。

今年も「エコテクノ」に出展します！

日時：2015年10月7日～9日

場所：西日本総合展示場新館



ブース展示

ITで
つないで
eco!

資源と情報を共有して、循環型社会を目指します

製造から産廃処理まで、弊社のソリューションで
限りある資源の有効活用をご支援します。

- ・ Hybrid製造
- ・ Hybrid調達
- ・ GreenPlanetPack
- ・ GreenPlanetPack+



ITを
身につけて
eco!

生活習慣の改善を支援して、健康長寿を目指します

なかなか続かない生活習慣の改善を、ウェアラブル機器と
弊社のソリューションで、強力にご支援します。

- ・ HealthPartner2015
- ・ 熱中症予防ソリューション



ITで
まもって
eco!

職場の安全を守って、安心な暮らしを目指します

ひとり一人のスキルや経験の違いをなくして、誰でも安全に
作業が行える、安心なソリューションをご提供します。

- ・ 音声認識ソリューション
- ・ 現場支援ツール



無料セミナー (事前申込)

テーマ：「ITでeco!

～ITで守る資源・健康・安全安心～」

日時：2015年10月8日(木) 14:20～14:50



弊社ブースにぜひお越しください。お待ちしております！！

プレゼン・スピーチセミナー【2級・実技能力検定】

これまで、“そるねつつうしん”にて、お客さまの課題に、期待に、お応えするための活動を数々紹介させていただいておりますが、今回は、プレゼンテーション能力の向上を目的として、『プレゼン・スピーチセミナー』（計6回）を開催いたしました。株式会社 アキュー・コミュニケーションズさまより講師をお招きし、受講者に若手の営業・エンジニアの社員8名を選抜して、2チーム構成しました。

本セミナーを選んだ目的・ねらいは、人前で話すことが苦手な人を選び指導することでなく、アイコンタクトをはじめとする“技術習得”をすることによって、コミュニケーションに自信を持ち、今まで以上に、お客さまとのコミュニケーションを大切に、情熱をもってお届けできるようになることです。



スピーチの様子を撮影し、
自らの姿を客観的に見てみると...

当セミナーでは、最終回にて【2級・実技能力検定】が実施されました。これまでの集大成である“最終発表”を成果として点数化した、検定試験です。検定試験には、受講者の上長の他にも、“その成果を見てみたい。”という興味も重なってか、20数名もの上長が参加しました。

検定試験での発表では、“涙”あり、“笑い”あり、見学者である上長のハートにも確実に訴えるものがあり、自信を持って話すその姿は、以前の姿と見違えるほどです。



検定試験の結果は、高得点者もあり、全員合格！

講師からの講評をうける際、安堵感と達成感による受講者の満足げな表情が印象的でした。



講師を囲んでたくさんの輪ができました

検定試験終了後、上長も加わって、講師を囲んだ懇親会は楽しいひと時となり、苦労話や更なる期待などの話に花が咲きました。セミナーを通して、受講者と上長がさらに一つになれたようです。

このセミナーでパワーアップして、更にお客さまのお役に立って行けることを期待しています。

(事業管理)

参考) 「2級・実技能力検定」は一般社団法人 日本プレゼン・スピーチ能力検定協会の認定による検定制度です

詳細情報: <http://spiken.jp/>

問い合わせ先: toshiro.i@accucom.co.jp (茨木 敏郎)

夏、満喫しました！

海岸沿いでビアガーデン
in 福間海岸 星のテラス

台風の進路に気もそぞろで迎えた 7月25日（土）、社員の家族や協力会社の皆さん
総勢133名が集まり、福津市福間海岸で社員会主催による夏のイベントを開催しました。

往路のバス車内では、「お絵かき伝言ゲーム」で大いに盛り上がり、
目的地に到着してからは、美しい海岸がさらに美しくなるようにと、
恒例の海岸清掃を全員で行って、気持ちの良い汗をかきました。

そして、テーブルに並ぶたくさんの料理や飲み物など、笑顔と
一緒に美味しく味わった後は、子供たちとの
楽しいスイカ割りや、夕暮れの花火です。

自然に誰彼となく笑いあい、語りあって、
参加者全員で、懇親を深めることができました。

キレイな海とたくさんの笑顔に
心から癒され、忘れられない
“夏の思い出”になりました。



情報セキュリティ対策でお悩みでは？

■ 情報セキュリティ対策の見直しをお薦めしています

サイバー攻撃や、メールによるウイルス感染など、外部からの攻撃を受け、弊社にご相談いただくケースがいくつか発生しています。

もちろんどのお客さまも、まったく対策を講じていなかったわけではありません。しかしながら、攻撃の手法や手口も更に巧妙化・高度化しており、それらに対応できるセキュリティ対策が求められています。また、利用環境も年々変化しており、ソーシャルメディア等の普及により、様々な形でインターネットとやり取りする機会が増えているため、より多角的な情報セキュリティ対策が必要となります。



■ 情報資産を守る3つのポイント

ポイント1：脅威に対するガードを固める

- ① ファイアウォール等でのガード
- ② ウイルス対策ソフトによるガード
- ③ 定期的なセキュリティパッチ適用によるガード



ポイント2：脅威を早期発見、拡大させない

- ① ファイアウォールのログ取得・解析
- ② サーバー、ウイルス対策ソフトのログ取得・解析
- ③ ネットワーク切断などによる運用対策



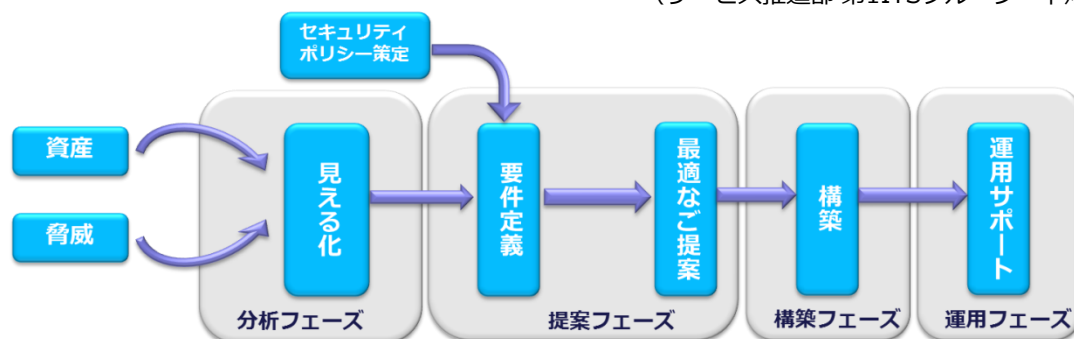
ポイント3：情報資産の保全

- ① 定期的なバックアップの取得（世代管理）

■ お客さまのインフラ環境を調査・分析して、最適な対策をご提案します

どのような対策をすべきかをお客さまと一緒に考え、最適なセキュリティ対策をご提案します。ぜひ弊社担当にお気軽にお声掛けください。

（サービス推進部 第1ITSグループ 下畑 隆行）



技術を価値に変えてお届けします

こんにちは。SI&S SI推進部 技術支援グループです。

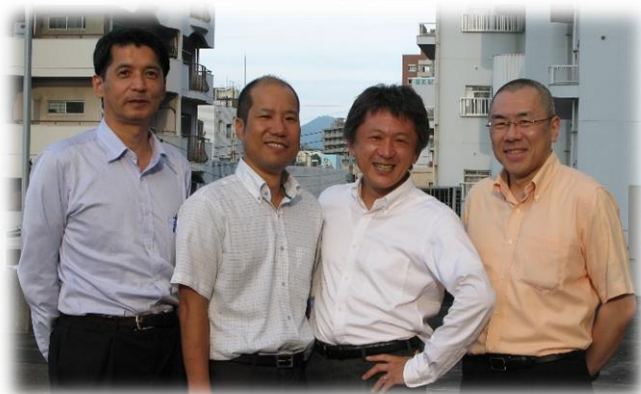
私たちのグループでは、アプリケーション基盤を中心とした技術の推進と支援を、全社横断的に手掛けています。昨年までも開発部隊の機能の一つとして、同様の活動を行ってききましたが、年々複雑化を増すシステム開発において、お客さまにより良いものをお届けするために専任の組織として、今年度新設されました。

足元の活動としては、開発プロジェクトでの生産性や品質向上のため、JBグループ標準の開発フレームワーク「Magnolia」を始めとする各種開発標準の整備や技術者教育はもちろんのこと、プロジェクトへ参画し難易度の高い技術課題の解決を請け負うなど、舞台裏をしっかりと支える役割を担っています。ときにはお客さまの情報システム部門への技術支援をさせて頂くなど、直接お客さまのIT構築へ貢献する活動にも積極的に取り組んでいます。

また、将来お客さまへ価値としてお届けするための準備として、IT業界の最新トレンドの

利用検討や、JBグループ全体のコミュニティ参画など、目まぐるしく進歩する技術を、日々キャッチアップするよう心がけています。こうして私たちが蓄積した知見をもとに、今号から「てくにかるCafé」としてさまざまな技術情報をお伝えしてまいりますので、ご期待下さい。

(技術支援グループ 福永 将士)



左から、園田、福永、中田、末松

■メンバーからの一言

福永 部門目標である「明るく、元気よく、気持ちよく」をモットーに、お客さまのビジネスに貢献できるチームを目指します！

園田 会社に入って30年、ソフトウェアの品質と生産性の向上を追求し続けています。
“フルスクラッチよりお手軽に、パッケージより柔軟に”そんなシステムをお探しのお客さまは是非私にご一報ください！

末松 データベースと基盤の技術を中心に、何にでも挑戦して行きたいと思います。
皆さまのお役に立てるように頑張ります。

中田 Webアプリケーション開発技術を軸足に、「新技術で幸せ！感動も一緒にお届け！」
そんな思いも詰め込んでお役に立てるよう取り組んでいます。

Windows 10 遂にリリース



本号より連載を開始します『てくにかるCafé』、技術に関する旬の話題や技術支援グループの取組みなど、毎号読み切りでお届けしていきます。

仕事の合間など、コーヒーを飲みながらちょっとブレイクして頂けると幸いです。

第1回目は、先日7月29日にリリースされました Windows 10 のお話です。

1年間の無償アップグレードで話題になりましたが、今回は、弊社が考える企業利用における移行のメリットについて触れてみます。

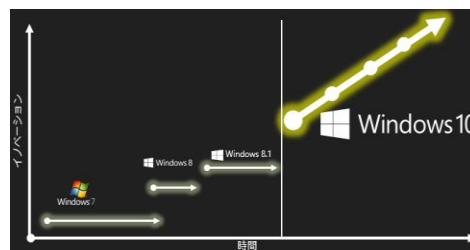
■ Windows 10 の特徴

Microsoft は、2, 3年で Windows 10 を10億台のあらゆるデバイスへ導入すると表明しており、これまでにないスピード展開を考えています。また、「Windows as a Service」とうたっているように、Office 365 に続いてOSもクラウドサービスでの提供を推進し、ビジネスモデルを変革しようとしていることもうかがえます。

大きな転換期を迎えた Windows 10、機能強化も当然ありますが、企業ユーザーにとってメリットが大きいのは、やはりライフサイクルが大きく変わる点だと考えます。

■ 新たなライフサイクルが企業にあたえるメリットは？

ライフサイクルが大きく変わり、今後は「① メジャーバージョンアップ（Windows 7 ⇒ Windows 8 等）が廃止」され、「② 年2～3回の間隔で継続的な機能更新が提供」されます。①により、これまで数年ごとに発生していた互換性/操作性/ライセンス費用などの課題について改善が見込めそうです。一方②では、企業向けUpdateサービスが新たに提供され、企業側で適用範囲とタイミングをコントロールできるようになり、企業の都合に合わせてPCを更新していくことが可能となります。これらのことから、製品ライフサイクルへの依存が軽減され、運用面での大きなメリットが期待できそうです。

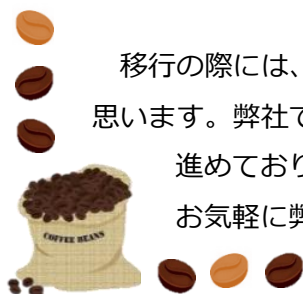


出展：Microsoft主催「de:code 2015」セッション資料より

移行の際には、「既存アプリケーションは動作するのか？」といった各種課題もあるかと思いますが、弊社では、Windows Insider Program にも登録し、早くからさまざまな検証を進めておりますので、お客さまの課題に応じた移行をすぐにでもお手伝いできます。

お気軽に弊社担当へご相談下さい。

(技術支援グループ 福永 将士)



※ Microsoft、および Windows、Office 365 は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

どのお祭りが一番？

「今日から始まる小倉祇園太鼓、みんなは行くの？」

先日、社長の長浜が言った何気ない一言で、会議終わりのくつろいだ空気が一変、そこにいたメンバーみな口角泡を飛ばす勢いで、地元の祭り自慢が始まりました。

北九州の夏は、各地の熱い祭りで始まります。『無法松の一生』で全国的にも親しまれている小倉祇園太鼓、独特なリズムの五平太ばやしや火まつりが街を彩る若松みなと祭り、400年も前から続いている黒崎祇園、夜空を照らす提灯が印象的な戸畑祇園大山笠と、どれも非常に個性豊かで、北九州が誇る伝統文化です。もちろん、甲乙のつくものではないのですが、「若松の五平太ばやしの競演会は、最高ですよ。」「小倉の太鼓と鉦のリズムがいいんよねえ。」

「黒崎のけんか山笠も、迫力がすごいんですよ。」「やっぱり一番きれいなのは、戸畑の提灯山やろ！」と、メンバーそれぞれが、生き活きとした笑顔で語る様子に、地元への強い誇りと愛情が感じられ、とても心に残りました。

地域活性化のキーワードに「シビックプライド」という言葉があります。これは、遠きにありて想うというよりはむしろ、自分の愛するまちに対して、「自分はこのまちの一部である」という立場から、誇りに思う気持ちを意味するようです。



社員にとって、それぞれの地元が大事なものであるように、ソルネットにとっても、北九州は企業のアイデンティティを形づくってきた大事なまちです。私たちの仕事がお客さまのビジネスに貢献することで、このまち北九州のさらなる活性化と発展に寄与できるように、

「シビックプライド」の気持ちを込めて、ひとつひとつの仕事に取り組んでいきたいと、改めて思いました。

(Y.Nishino)

編集後記

今年も8/24～8/28の期間、9名の学生を迎えてインターンシップを実施しました。初々しい学生さんを見てみると、「ファンになってもらいたい」との気持ちから、自然と私たちの背筋もピンと伸びていきます。今回の職場体験や学生間の交流経験が、将来「なりたい自分」になるための一歩となれば幸いです。実習にご協力頂きましたお客さま、本当にありがとうございました。

(K.K)

